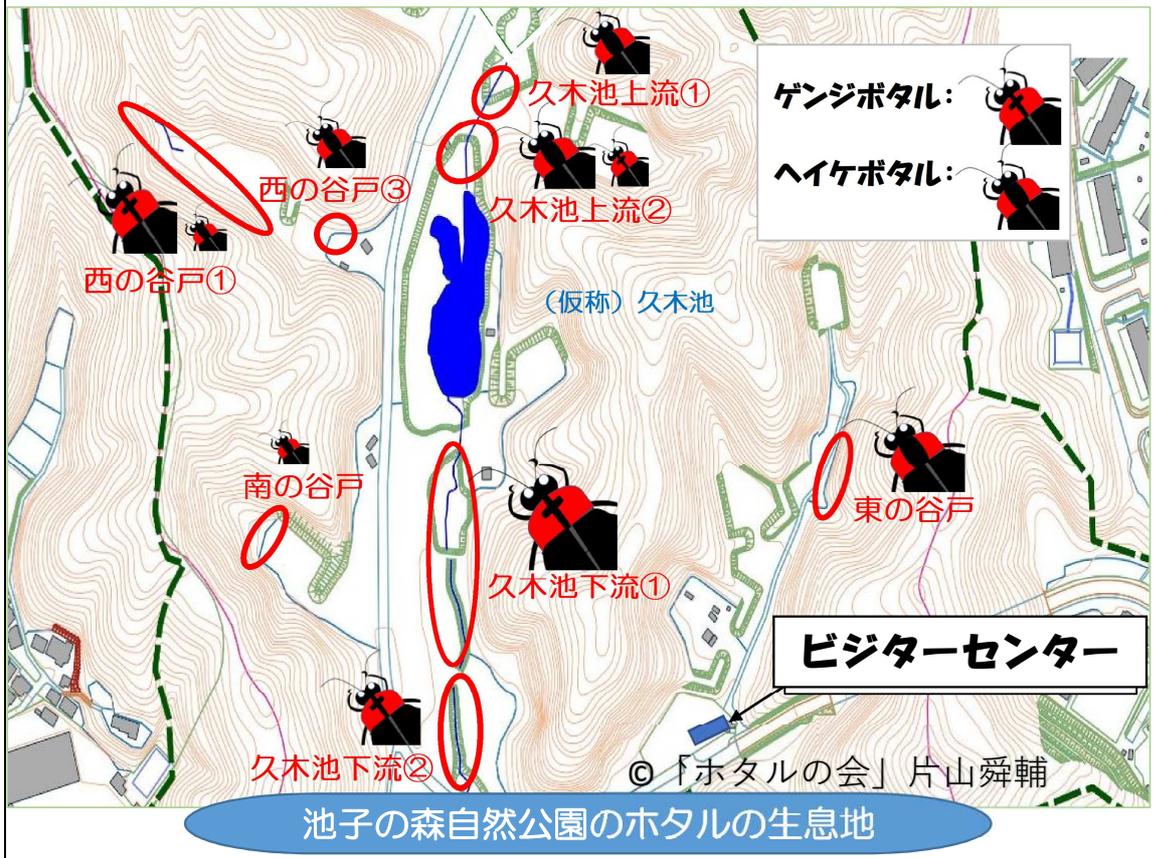


1 久木川のホタル生息地

場所・範囲



■作業スケジュール

作業	頻度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
観察環境保全のため草刈	年3回					■			■				■
水路、水たまりの浚渫	数年でローテーション		■										■
調査及びレポート作成	①幼虫上陸、②成虫、 ③レポート作成	①		②		③						①	
観察会及び 環境教育イベント	①観察会、 ②環境イベント			①									②

安全管理

自然環境の特徴

池子の森自然公園のゲンジボタルは生息地によって発生する時期に違いがあり、5月中旬に水温の高い久木池下流で発生して、水温の低い西の谷戸①では6月中旬に発生する。ヘイケボタルは地点による発生時期の違いは小さくて、6月中旬から7月下旬までみることができる。またホタルの幼虫の餌となるカワニナも多く、生息条件が整っている。ホタル類は市民の関心が高く、また健全な水辺の指標とされることがある。

利用・管理状況

- 水路への立入は禁止。維持管理で発生した竹材等を利用して柵等を設置している。
- 5月～7月に市民、中高生向けのホタル観察会を実施、環境教育の場として活用している。
- ビジターセンターでゲンジボタルの繁殖飼育を実施、市民に展示説明するとともに、環境教育イベントとして幼虫の洗い出し・放流を公募市民、中高生等で行っている。
- 繁殖用成虫採取及び幼虫放流は、久木池下流②に限って実施している。
- ホタルの生息環境把握のため、水温のロガー測定を実施している。(2020年11月～)

保全の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタルの生息環境を維持できるように生息地の保全管理を行う。ヘイケボタルは生息環境の創出を積極的に行う。 ・環境学習に活用できるように、安定した個体群が維持できるように水辺環境を保全する。
管理の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺にかかる樹木は適度な影になるため、カワニナ食物となる藻類の繁茂に支障がない限り残す。 ・ホタルの飛翔空間に植物が繁茂した場合は除去し、飛翔空間を確保する。 ・ゲンジボタルの生息地は、流水が適切に流れるよう倒木、落葉、堆砂の除去を適宜行う。 ・ヘイケボタルの生息地は、水たまり、湿地を維持するとともに、落ち葉や土砂が堆積しすぎないように適宜管理する。 ・ホタルの産卵用のコケ石の設置するなど、積極的に生息環境の醸成に努める。 ・水路への人の立入がないよう柵や看板を設置し、適宜点検を行う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年の開園以来ホタルの幼虫・成虫調査を毎年実施して、ホタルの生息状況を取りまとめるとともに、観察会の開催状況等と併せてホタル白書として公表している。